

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 気仙沼市立大谷中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒988-0182
宮城県気仙沼市本吉町三島60-4

E-mail ohya-chu@kesennuma.ed.jp

Website http://www.kesennuma.ed.jp/ooya-cyuu/html/htdocs/

児童生徒数 男子 62名 女子 48名 合計 110名
児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について

1 本校のESDでめざすもの

(1) ESDのねらい

自分たちのふるさとである大谷の自然や環境にふれる体験活動の中から課題を設定する。その課題解決をとおして地域の自然や暮らしを守り、伝える持続可能な地域づくりを考えることができるようにする。

(2) ESDで育てたい資質・能力

- ・多様化する社会を鋭く見つめ、自分の興味・関心に基づいた課題を見いだし、解決する能力
- ・情報や資料と主体的に収集・選択し、他者に対して表現豊かに発信する能力
- ・他者を思いやり、協調し、貢献しようとする態度

(3) 本校ESDの特長

○地域の自然とのつながり

本校では「大谷ハチドリ計画」を中心とした環境教育を行っている。大谷の山、海、田んぼの関連と、その恵みが地域の暮らしを支えてきたという考え方にに基づき、各学年でテーマを設定してふるさとの恵みの豊かさを知る活動に取り組んでいる。また、外部講師として大学教授やNPO関係者など、自然環境のスペシャリストをお招きしての講話や体験活動を行っており、ふるさとの自然の豊かさを外部からの視点をとおして改めて確認する機会にもなっている

2 今年度のESDの概要

(1) 実践の概要

27年度に3回実施した環境講話では、復興が進む学校周辺や地域の自然環境の変化などをテーマに、外部講師からアドバイスをいただき、学習を進めた。1年生は「大谷の森」に関する活動として学校林の調査や防潮林の下草刈りを行った。2年生は「大谷の海」に関する活動として海岸の調査やウニの観察を行った。3年生は「ふゆみずたんぼ」とのかかわりを中心に、農作業をとおしての体験学習や水田の生態調査などを行った。各学年とも、学年テーマに沿って自分の調べたいテーマを決めてグループで調査活動を進めた。特に3年生は年に数回、専門家の方々の指導を受けながらフィールドワークなどを進め、学習発表会で調査活動の成果を発表した。

(2) 今年度、特に工夫・改善したこと

- ・地域とのつながりをより重視し、森林組合の方を講師にお迎えしての環境講話を行った。その後、大谷の森について学習している1年生が、本吉地域の林業についてインタビューし、地元の環境について理解を深めることができた。
- ・公民館の協力を得て、地域との協働教育の推進に努めた。公民館職員による活動への協力のほか、収穫祭の実施にあたっては、地域のボランティア団体の紹介もしていただいた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）



27年度田植えの様子



27年度ウニの生息調査の様子



27年度稲刈りの様子